

## 2009 年度活動報告

### (1) 情報交流

当会の目的は、日常的な情報交換を通して多目的な交流を図り、地域活動を活性化させ、学園都市にふさわしい文化の創造とまちづくりに寄与することであり、下記の情報交換を行なった。

#### 「フレスター」(交流ニュース)の発行

毎月一回交流ニュース「フレスター」を発行した(12回)。今年度はWAM(独立行政法人福祉医療機構)の助成を受けて事業に取り組んだ関係で交流ニュース「フレスター」の内容もそれに沿ったものの記事が中心となった。

10月以降はカラ版100部を別刷りして障害者施設などに配布した。配布方法として今年度はメール配信を増やしたい。会員以外にも積極的に配布し、会員拡大に努めたい。

#### ホームページ

フレスターの発行に合わせて情報更新ができた。ホームページのイメージを一新し、内容の更新と充実に努め、情報交流の要にしていく。

#### 世話人会のメーリングリスト

世話人会の情報交換を、さくらインターネットのメーリングリストで行う。

### (2) ゆめ広場部会

2006年4月24日開設の「ゆめ広場」運営費捻出のために「リサイクルバザー」を開催してきた。飲食可能な無料休憩所として多くの方々に利用されているが、当初の目的である情報や交流の拠点としての活用には至っていない。今年は5年目を迎える節目であり、今一度「ゆめ広場」のあり方を検討する必要がある。

#### ！利用者と居るだけボランティア

特に、高齢者や高校生が多く、バスや電車待ち・待ち合わせ・食事・勉強などに利用されている。介護ベッドも、気分の悪くなった方やオムツ替えに利用された。

これからは居るだけボランティア参加者の確保に努めていくことが大切である。

<月別利用者数 - 当番記録に基づき推計した数>

合計 30,430人/年 月平均 2,550人 日平均 85人

<居るだけボランティア者数 - 12月28日から1月4日までは休業>

合計 1,080人/年 月平均 90人 日平均 3人

#### リサイクルバザー

会員のみならず地域住民や諸団体から数多くの品物を提供していただき、売上は「ゆめ広場」の存続に多大な貢献ができた。

(H21年4月~H22年3月の販売額: 397,977円)

#### クリスマス会

恒例事業となったクリスマス会を12月23日に開催し、障害者施設の方も参加され、約30名を超える参加者で大いに盛り上がった。手作り料理や飲み物、ケーキ、コンビニからのおにぎり、パンなど食べきれないほどの提供品があった。

#### 茶話会

毎月1回、大掃除の後に茶話会を開催した。参加者は次第に減少している。

茶話会を通して、交流を深めるとともに、本会の活動に協力していただく市民・学生の確保

に努めたい。参加者確保のために内容や日時の定例化を検討する。

#### 大掃除

昨年より毎月1回大掃除を実施しているが、参加者は次第に減少している。日時の定例化や、日々の清掃やゴミ捨て方法なども検討する必要がある。

#### 有料掲示板の設置

本会の財政を支えるために、有料掲示板のコーナーを設置した。利用者を増やしていきたい。

#### 自販機の設置

本会の財政を支えるために「飲料自販機」と「盲導犬支援募金充電器」を設置している。

### (3) 人にやさしい街づくり部会

折尾のまちづくり全般（ハード・ソフトの両面）について、ユニバーサルデザインの考え方を踏まえた調査活動や提案活動などを積極的に行う。

8月21日、「折尾地区のまちづくり・出前講座」を「まちなっと」と共同で開催（八幡西生涯学習センター折尾分館）「まちなっと」に参加する（別記2-5- ）

折尾駅周辺で行われている再開発が「人にやさしい街づくり」になるように計画段階から参画できるように、勉強会などを開催する。

### (4) 若者部会

若者部会の会員が少なく、あまり活動ができなかった。7月26日開催の「みんなこいこい夏祭」の『七夕・アイデアコンテスト』で1等を受賞。1万円の賞金の商品券を学園&地域交流ネットワークに寄付する。

### (5) 地域交流事業（他団体との交流）

様々な活動に参加すると共に、交流には欠かせない、ネットワークの中間支援としての役割も果たすことができた。

#### フレスターコラボ 2009

2009年11月3日当会が当初から開催している他団体との協働イベント「フレスターコラボ」を、地域通貨オリオン委員会の「ひとつぼてん」として、九州女子大学・大学祭で開催した。今回は助成金事業の関係で主に授産品バザーを実施した。障害者施設や地域団体などと交流を深めることができた。

#### 地域通貨オリオン委員会

地域通貨オリオンの「してほしいこと」と「できること」をつなげる中間支援として当会のネットワークを活用した。

#### おりお未来21協議会

折尾地区総合整備事業を機会に、折尾のまちづくりに取り組んでいる様々な団体が北九州市とパートナーシップのもとに新しい折尾のまちを創り上げるために設立され、運営委員会と折尾駅舎保全・活用検討会議に参加する。

##### 運営委員会

おりお未来21協議会の運営委員として副代表が参加

##### 折尾駅舎保全・活用事業化検討会

学園&地域交流ネットワークから副代表が参加

2009年9月25日～2010年3月23日（計6回）

##### 商業にぎわい検討会

学園&地域交流ネットワークから副代表が参加  
2009年9月25日~2010年3月25日(計7回)

#### 折尾駅舎・堀川運河を保存する会

折尾駅舎保存の構成団体として参加し、歴史を継承したまちづくりの大切さなどを提案すると共に折尾駅舎の保存を呼びかけた。

#### 北九州市福祉のまちづくりネットワーク(まちネット)

誰もが住みよいまちづくりのための意見交換会・現地調査・学習・検討などを関係行政・企業・障害当事者団体・専門家で行った。

8月21日「折尾地区のまちづくり・出前講座」を開催(八幡西生涯学習センター折尾分館)

定例会(隔月第3水曜日)

検討会点検活動

黒崎再開発(年金病院跡地整備)、枝光駅、高塔山などの点検をし、北九州市や関係機関と協働で検討会を行う。2009年4月1日~2010年3月31日(計6回)

学習活動

バリアフリー新法や折尾再開発の学習会を開催する。

#### 北九州市民サミット

市民活動の共有により、よりよい活動のための意見・提案・資金・物・人の援助を受けられる機会をつくる北九州市民サミットにブース型で参加した。

2009年4月18日「つながれ!100万人の一步! 私達が活動を続ける理由(わけ)」

2010年4月11日開催の市民サミットでは、「架け橋ガイドブック」の障害者施設紹介部分などが拡大掲示された。その掲示物の製作や会場の設営準備、当日のお世話などで参加した。

#### 絵画展「消えゆく折尾駅とその周辺101景」開催

陣ノ原市民センターの「四季彩」のメンバーが、再開発でまもなく消え去ろうとする折尾駅とその周辺を描いた淡彩画展を「ゆめ広場」で開催した。(5月16日~31日)

#### 「ふくおかっ子応援団」

1月31日に「手をつなごう!青少年の健全育成サポーター」のシンポジウムを開催した、福岡県の「ふくおかっ子応援団」に実行委員会として参加する。(福岡看護専門学校水巻校にて)

2月11日にグローバープラザでの同様の企画にも参加した。

#### 「ORIO Champloo(オリオチャンプルー)」

2月26日~28日、折尾の開発で衰退している街を元気にしようと「アート&ライブイベント」が開催され共催参加する。参加者約400人で大いに盛り上がった。

#### 八幡西ボランティア連絡協議会

八幡西区を中心に活動するボランティアグループと、横の連絡を取り合いながら活動を活性化させようとする協議会に参加し情報交換を行う。

定例会(毎月第3火曜日)

2010年2月28日「ボランティアフェスタ in 八幡西」の『地域づくりとボランティア』にて、「障害者施設と地域の架け橋ガイドブック」、「学園&地域交流ネットワーク」、「ゆめ広場」を広報した。

#### 「ふくおか地域づくりフォーラム」

3月6日、福岡県立大学(田川)で「ふくおか地域づくりフォーラム」の『地域資源を活かしたまちづくり』が開催され、小野原さんがパネリストとして参加する。

## (6) 助成金事業

今年度は「独立行政法人福祉医療機構」の助成を受けて「安心して、みんなで街に出かけよう！」事業に取り組んだ。事業の分野は「障害者の就労支援と社会参加の促進」であり、「瀧懸はまゆう太鼓」と「すきまの会」の協力を得て実行委員会方式で実施した。

この活動によって、施設における授産品製作・販売活動や外出行動、ボランティア受け入れの実態と問題点、そして地域社会への支援要請の内容が明らかになった。またガイドブックの発行や授産品バザーの開催を通して、施設やボランティア団体、福祉関係団体などとの交流と協働への展望が開けてきた。以下はこの事業で取り組んだ3つの内容である。

### 1. 授産施設・小規模作業所等の情報調査(7月~9月)

北九州圏内の136施設を対象にアンケート調査を実施し、72施設から回答を得た。さらにこの72施設に対して現地ヒヤリング調査を実施した。この調査の主な内容は、授産品等の製作・販売の実態と問題点、ボランティアの受け入れの実態と要望、外出行動の実態と問題点である。

### 2. 施設や授産品の広報と普及啓発活動(10月~3月)

今回の調査で明らかになったことや学んだ成果を広くボランティア団体や市民に知ってもらい、みんなで支援活動を考えていくために「架け橋ガイドブック」を編集し、1300部を発行した。

### 3. 「ゆめ広場」などでの授産品バザーの開催(10月~3月)

施設で製作された授産品を預かって、「ゆめ広場」で毎月第3土曜日にバザーを開催した。また11月3日には九州女子大大学祭に参加し、授産品を出店した。これら合計7回のバザーに出品した施設は15件で、売り上げ合計額は468,515円になり、その全額を施設に還元した。

## (7) 世話人会の運営

世話人会は原則として毎月1回開催した。出席者はいつも5人前後と少なく、委任状を含めて成立してきた。

今年度の主な事業はWAM助成事業であり、他団体構成員も含めた実行委員会方式で運営してきたために、世話人会とは別に会議を開催してきた。従って本会独自の事業である「ゆめ広場」の運営(特にリサイクルバザーの在り方)や地域の諸団体との交流事業、会員・賛助会員の拡大、スポンサーの公募などについて世話人会で十分討議して取り組むことができなかった。今年度は世話人を補充して、結成以来7年目に入った活動の原点に立ち返って、本会が地域社会の交流と街づくりの拠点となるよう頑張っていきたい。また、他団体との協働によって、新たな助成金事業にも取り組んでいきたい。そしてこの活動を通して、会員・賛助会員の拡大に取り組み、財政問題も含めて、活動の質的量的発展を図りたい。

## (8) 今年度の中心的課題

学園&地域交流ネットワークは2004年1月に結成して6年が経過した。また「ゆめ広場」は2006年4月に開設して4年が経過した。

本会の主たる目的は、学園都市折尾において地域住民と学園教職員・学生の交流によって、折尾の街に新しい文化を創造し、誰もが安心して豊かな生活が出来る街づくりを進めることであった。そして、これまで会員・賛助会員及び諸団体の支援・協力によって、今日まで「フレスター」の発行、ホームページの開設、ゆめ広場の運営、他団体との共催による学習会などの開催、各種イベント・シンポジウム等への参加、官公庁等による助成事業への採用による各種調査と

冊子の発行などを手掛けてきた。

しかし、当初の目標に鑑みると、地域の諸団体と学園との日常的交流、及び「ゆめ広場」の交流拠点としての活用という点では十分な成果を上げていない。

この課題を考えた時、「ゆめ広場」が休憩所としての役割に偏り、さらに財政難を補うための「リサイクルバザー」が肥大化している現状は是正する必要がある。

従ってこの1年間をかけて、「ゆめ広場」が本来の目的に沿った運営ができるように、情報収集・発信の場として掲示板やカラ ボックスなどの活用、サークル・ボランティア団体などの会議や作業などの場として活用などを定着させることが大切である。このために現行の「リサイクルバザー」は、順次整理縮小して、6月末までに取扱商品を限定したミニバザー（未使用の衣類及び日用品）として再出発する。また「ゆめ広場」の当番も輪番制を導入して管理運営の改善を図る必要がある。（詳細な運営計画は世話人会で決定する。）

これまで本会の財政を支えてきたバザーに代わる収入源として、会員・賛助会員の拡大、スポンサーの公募、助成事業への応募などに、これまで以上に積極的に取り組む必要がある。

## 会則改定

(1) 第4条3項（下線の字句を修正、加筆する。）

3 正会員は総会に参加し、基本方針等の審議・決定に関与することができる。賛助会員は総会にオブザーバーとして参加することができる。

(2) 第5条3項（新たに3項を挿入し、以下の項番号を順次繰り下げる。）

3 総会は正会員の過半数の出席（委任状を含む）をもって成立し、出席者の過半数の同意によって議決する。但し、前年度の会費を未納の正会員は、総会に参加して意見を述べることはできるが議決権を有しない。また定足数算定の母数に含めない。

(3) 付則（6項として以下を挿入する。）

6 本会則（改定）は2010年4月28日より発効する。

## 募 集 !!

### 「フレスター」(交流ニュース)のメール配信と、記載する記事

毎月一回交流ニュース「フレスター」をメールで配信しています。また、「フレスター」に記載する記事（団体や活動のPR、各種イベント）なども募集しています。ご希望の方はご連絡ください。ホームページでもご覧いただけます。ホームページ <http://friestar.com>

【事務局】メール：info@friestar.com FAX：691-0686 TEL：090-2710-6810

### 「ゆめ広場」のボランティア

皆さんが気持ちよく過ごせるように、整理整頓や見守りをするボランティアです。お時間のあるときだけでかまいませんので、ご協力をお願い致します。

### 「学園&地域交流ネットワーク」の会員（年会費：個人2000円 団体3000円）

活動を一緒にしていただける「正会員」、活動はできないけれど資金面で応援していただける「賛助会員」の方は、上記の事務局へご連絡ください。

会費や寄付は、活動や「ゆめ広場」運営の大きな支えになります。

郵便振込口座：01750 4 55995 加入者名：学園&地域交流ネットワーク

銀行振込：西日本シティ銀行 折尾支店 口座番号：1843905

口座名義：学園&地域交流ネットワーク 代表 竹下秀俊